

ひきこもり当事者における 農的連携について



明石市ひきこもり相談センター
2024年11月1日

ひきこもり当事者会とは？

- ▶ ひきこもり状態にある方を対象に、職員以外の人との交流を通じて社会性を回復してもらう場を提供する会
- ▶ 対象者：明石市ひきこもり相談センターで継続支援しているひきこもり当事者
- ▶ 毎月1回開催（年12回）
会場開催＋Zoom配信による参加可
- ▶ 実施内容：①ミニセミナー、②ゲームや製作等での交流
ミニセミナーは、ひきこもり当事者の支援に繋がる情報や明石市内の情報、レクリエーションなど講師を招いて実施

令和5年度 ひきこもり当事者会の実績

	会場参加者	オンライン参加者	家族	内容
R5.4.26	2	2	0	公認心理師より講話「コミュニケーションについて」 & ボードゲーム
R5.5.24	2	1	0	文化博物館職員より講話「明石城の歴史について」 & ゲーム
R5.6.28	1	2	0	健康推進課 歯科衛生士より講話「歯のお話～歯周病と歯のケアについて～」 & ゲーム
R5.7.26	1	1	1	「音楽を楽しもう」 タッカー（長尾氏）によるギター演奏及び歌
R5.8.23	3	2	1	中小企業診断士 内藤 敏より「あなたにもできるDX」～配信型ビジネスで稼ぐ・新たな収入源の作り方～ & ゲーム
R5.9.27	1	0	1	「新しいスポーツを楽しもう」（わなげ、スラックライン、ボッチャ）
R5.10.25	4	1	1	「あかしのため池について」 農水産課職員の講話 & スライム作り
R5.11.22	1	1	0	「星座と星の物語」 明石市立天文科学館職員の講話
R5.12.20	2	1	0	「おいしいマメ知識」 健康推進課 栄養士による講話 & ボードゲーム
R6.1.24	1	2	0	「『起業』という働き方を考える」 中小企業診断士 内藤 敏氏 & ボードゲーム
R6.2.22	1	2	0	「自分の強みを見つけよう！『リフレーミング』」 あかし若者サポートステーション キャリアコンサルタント 藤村和代氏
R6.3.22	1	2	0	「明石の観光」 明石市シティセールス課職員の講話
延べ人数	20	17	4	

ひきこもり当事者会における農業体験

▶ 趣旨・目的

生きづらさや働きづらさを抱えるひきこもりの当事者が、それらの課題を解消していく過程におけるひとつの経験や活動とするため、「農的な要素・活動」を「ひきこもり当事者会」に取り入れ、社会復帰や自立へのきっかけに繋げる

▶ 実施日

2024年10月28日（月） 14:00～16:00

▶ 実施内容

エディブルフラワーの鉢植え、レンゲの種まき

協力部署

- ▶ 明石市 環境産業局 産業振興室 農業振興課

協力依頼農業者

- ▶ LAND FARM（ラントファーム）代表
藤田 梨奈 氏
- ▶ 明石市の農業者。明石市農業基本計画策定委員会の委員を務める
- ▶ 農林水産省農業女子プロジェクトのリーダー

ひきこもり当事者会における農的連携

▶ 配慮事項

- ・ 当事者の休憩場所を確保するため、休憩用テントを設営
- ・ 不測の事故に備え、イベント保険へ加入
- ・ 当事者から途中退場の希望があった時の移動手段を確保

▶ 参加者

	男性	女性
10代	1	
30代	2	2
50代		1

- ▶ うち4名は今年度、定例の当事者会に参加なし。
- ▶ 昨年度、定例会参加は1～4名/回
- ▶ 体験型の当事者会にニーズを感じた。









参加者の感想

- ▶ やったことがなく、おもしろかった。
- ▶ 外に出るきっかけになった。
- ▶ 実際にやってみると難しかったが、楽しかった。

参加動機

- ▶ 外にでるきっかけをつくりたかった。
- ▶ アルバイトを今後考えており、作業体験をしてみたかった。
- ▶ 軽作業、短時間と聞き、やってみてもいいと思った。

今後の課題

- ▶ 体験や協力先のバリエーションを増やす。
- ▶ 当課と、ひきこもり当事者が繋がること。
- ➡
 - ・ ネットワーク会議等での検討。
 - ・ 庁内、関係機関との連携を深める。
 - ・ 市民への普及啓発（市民向け講演会等）
 - ・ 支援者との連携（従事者向け研修会等）

